

図書館 だより

問い合わせ先

泗水図書館 ☎ 0968 (38) 6866
 中央公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1672
 七城公民館図書室 ☎ 0968 (25) 1580
 旭志公民館図書室 ☎ 0968 (37) 3111
 内線 303

閉館日・閉室日

泗水図書館 月曜日・月末・祝日
 中央公民館図書室 火曜日・第1日曜日・祝日
 七城公民館図書室 日曜日・祝日
 旭志公民館図書室 日曜日・祝日

菊池市図書館ホームページ <http://www.kikuchi-lib.jp/>

司書のつづやき

雨の日の週末は、ゆっくり
 コーヒーでも飲みながら読書
 ぞんまい。 コスモス

新着・お薦め図書

泗水図書館

わりなき恋 岸 恵子 著
 幸村去影 津本 陽 著
 ジヴェルニーの食卓 原田マハ 著
 ああ父よああ母よ 加賀乙彦 著
 できる大人のモノの言い方大全 話題の達人倶楽部 編
 熊本歴史読本 新人物往来社 編
 動物と話せる少女リリアーネ T・シュテーパー 著

中央公民館図書室

超一流の人の「健康」の極意 小林弘幸 著
 知れば恐ろしい日本人の風習 千葉公慈 著
 シルバー川柳2 全国有料老人ホーム協会 編
 イノセントブルー 神永 学 著
 かえりみちはひみつのにおい ふじたなほみ 作
 だいすきぎゅっぎゅっ フィリス・ゲイシャイトー 文

七城公民館図書室

百年桜 藤原緋沙子 著
 黙示 真山 仁 著
 こんぶのぶーさん 岡田よしたか 著
 とうふちゃん あだちとも 著

旭志公民館図書室

かんかん橋を渡ったら あさのあつこ 作
 写楽 閉じた国の幻 上・下 島田荘司 著
 ワニばあちゃん おくはらゆめ 作
 きいてきて たかぎちず 作・絵

こんにちは、旭志公民館図書室です

旭志公民館の1階にあり、約7千冊の本や雑誌、紙芝居を所蔵しています。室内はおりがみで作った季節の飾りや手作りの椅子、小物などがあり、かわいらしい雰囲気です。またくつろぎスペースもあり、小さなお子さんが安心して絵本を読むことができます。そして、床が布張りになり緑のじゅうたんが部屋が明るく感じられるようになりました。

窓側にはカウンターを設けており、ゆっくりと読書を楽しんでいただけます。本棚は新刊コーナー、小説コーナー、文庫コーナー、児童書コーナーがあり、それぞれにおすすめの本を展示しています。新しい本が増え、ますます充実してきた図書室にぜひお立ち寄りください。新たな一冊が見つかると思います。



私たち司書がお待ちしています。

耳より情報

★ 詩人・伊藤比呂美さん再び来館！ ★

「大人のガールズトーク」
 ～伊藤比呂美さんを囲んで～

とき 6月23日(日) 午前10時30分～正午

ところ 泗水図書館

定員 50人

問い合わせ・申込先 泗水図書館
 ☎0968(38)6866

リサイクル本を配布します

7月7日(日)開催の社会を明るくする運動菊池市集会中、図書館(室)で使用できなくなった本や雑誌のバックナンバーをリサイクル本として無料配布します。本を入れる袋などはお持ちください。

とき 7月7日(日) 午後1時～ ※なくなり次第終了

ところ 菊池市文化会館小ホール入り口

※当日は中央公民館駐車場の混雑が予想されます。ご迷惑をおかけしますが予めご了承ください。

万句の里俳句会 4月句会

大木に絡まり藤の咲き誇る 林 まつ子
 天に地に生きるよろこび揚雲雀 松永 久子
 ことごと煮込む厨の山椒の芽 中路 郁子
 行春の雨にひもとく方丈記 鋤本 トミ
 春の水廻し苔むす大水車 田中ひさ子

せせらぎ俳句会 4月例会

白き歯の幼なパリパリ春キャベツ 寺本 和子
 麻痺の身を忘れ笑顔の花吹雪 服部 静子
 舞えばまたよめきのあり花吹雪 藤本アツ子
 春休み終りて猶予すでになく 渡辺 大寿
 逝く春や遠き娘のこと孫のこと 村上 数恵

旭志文芸教室俳句会 4月詠草

バスの旅藍の天草春岬 中尾ヨシコ
 竹林を裏庭にして初音かな 芹川 蓉子
 孫嫁と曾孫とデート花三分 水谷 ミネ

足萎えの試す一步や草萌ゆる

散り散りばらばら 卒業以来会いたさん 田中レイ子
 そるが人間 ソロバン弾く癖ある 田尻 浩風
 ゆるーっと 積んどった本減らす雨 高木 房恵
 ベタバタ 落選組の夢の跡 高倉 新米
 仕分け人 どうし議員なへずらんか 辻 弘喜

肥後狂句水笑会 4月例会

禁煙成功 夢でも吸わんごつなつた 宮上 美由
 禁煙成功 子供が出来たその日から 御手洗三代
 様子が変 酒は出してん押しやらす 中島 五女
 券売機 何ば食おうかまようとする 柏原 乗仏
 出発 冥土行きには早過ぎる 平井 江彩

肥後狂句水笑会 4月例会

存分に咲き見せくれし桜花吹き過ぐ 岩津 涼子
 風に花吹雪くなり 岩津 涼子

七城短歌会 4月詠草

裏斜り黄と咲き満つ山吹の枝垂れの奥に神おはすごと 岩木 妙子

草を抜く私の頭上で初鳴きの鶯がし

きり怠惰とがむる 村上 幾雄
 更けし夜を抜け出で露天湯にひたるかたみに膝病む先客ありぬ 佐々 重弘
 「作るな」は娘らがの忠告時季くれば 植えずにおれぬ胡瓜トマト苗 岩崎 照代
 ゆくりなく見舞いにはるる来し 歌友の握りてくれる手の暖かし 高木 精

里短歌会 4月歌会

初夏のま白に咲ける石楠花に心ときめき上りて来たり 松岡 節子
 果てしなく菜の花咲ける菊池野の黄泉に続くか今日は彼岸会 川口 敦子
 候補者の雨に打たれて辻だちの地にしっかりと長靴姿 桑野 睦子
 若者らと共に吹かせし菊池風 新首 長に未来が光る 岩本サヨ子
 風雨衝く中をも一人信念を説きて教え子新市長を欣ぶ 安見 朱實

菊池短歌会 5月詠草

やまひ癒えおおいと夫の来はせぬか 幾たび見やるひとりの畑 安藤 則子
 裏斜り黄と咲き満つ山吹の枝垂れの奥に神おはすごと 岩木 妙子



五月空からりと青しそびえたつ城、又、美し 楠若葉越し 梅田 昭子
 モーツァルトよりカーペンターズに替りたるリハビリ室の風が新らし 山代 静子
 満開の桜遠目に見えながら今日の朝餉の慎ましきかな 黒田 衣子

文芸 きくち